

## 令和元年(2019年)7月 水産物部 主要品目の市況

	種類	品目	市況の概要	2019年7月 数量 (トン)	2019年7月 平均単価 (円)	前年同月比 (数量)	前年同月比 (平均単価)
1	生 鮮	ま ぐ ろ (本まぐろ)	メキシコ養殖物の値上げと小型化で国産養殖物の需要が高まりましたが、前年と比べ、取扱数量は減少、平均単価は上がりました。	15	2,439	88%	117%
2		め ば ち	東南アジア方面がの入荷が増えましたが、取扱数量は前年より減少、平均単価は前年並みでした。	4	668	84%	102%
3		は ま ち	天然物が入荷は減少しましたが養殖物が増加したため、前年と比べ、取扱数量は増加、平均単価も上がりました。	11	1,267	113%	118%
4		あ じ	九州・山陰中心の入荷で、後半から宮城・千葉も入荷しました。前年と比べ、取扱数量は増加、平均単価は下がりました。	82	468	116%	86%
5		い か	北陸中心の入荷でしたが、前年と比べ、取扱数量はかなり減少、平均単価はかなり上がりました。	43	658	63%	125%
6		か つ お	千葉から宮城へと入荷の中心が移動しました。前年と比べ、取扱数量は増加、平均単価もかなり上がりました。	58	440	120%	123%
7	冷 凍	め ば ち	取扱数量は前年より減少、平均単価は前年並みでした。	46	1,239	85%	100%
8		い か	八戸産が主体で、前年物はほぼ出尽くしたようです。前年と比べ、取扱数量は大幅に増加、平均単価はかなり下がりました。	38	688	172%	73%
9		さ け ま す	前年と比べ、取扱数量はかなり増加、平均単価は下がりました。	76	917	139%	88%
10	加 工	さ け ま す	取扱数量は前年よりかなり減少、平均単価は前年並みでした。	59	1,108	74%	100%

## 【増減基準】

- ①並み、横ばい:(+-)0~2%
- ②やや増加(減少):(+-)3~10%
- ③増加(減少):(+-)11~20%
- ④かなり増加(減少):(+-)21~50%
- ⑤大幅に増加(減少):(+-)51%以上